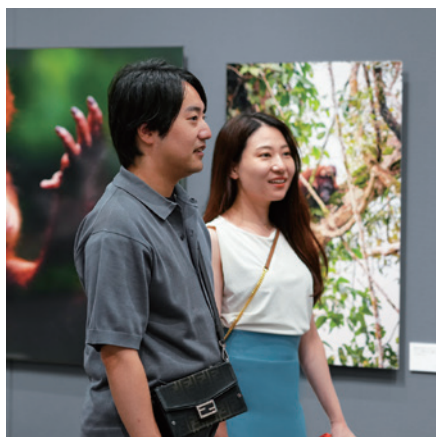




2025年度 活動トピックス

「こころ彩るところ」 フジフイルム スクエア 2026

写真の歴史と文化を守り続けた活動が実を結び
「写真の力」をより広く発信する契機となった一年。

2025年度 活動トピックス

写真展の開催本数82本、ご来館者数約39万人

創業以来、写真文化の発展に貢献してきた富士フィルムは、写真が持つ価値を伝える活動の一環としてフジフィルム スクエアを2007年にオープンいたしました。現代を代表する著名な写真家の作品をはじめ、国内外の幅広い写真家のバラエティーに富んだ作品を展示しております。2025年度は82本の写真展を開催し、約39万人の方にご来館いただきました。

フジフィルム スクエアの活動が「メセナアワード2025」優秀賞を受賞

「フジフィルム スクエア」は、開館以来2025年度までに1,882本の写真展を開催し、累計で約900万人の方々に写真鑑賞の場として親しんでいただいています。そして、昨年はこれまで続けてきた以下4つの活動が「メセナアワード2025」^{*} 優秀賞を受賞いたしました。

- ①歴史的価値のある作品から新進気鋭の若手写真家の作品まで、幅広い写真作品を展示する「富士フィルムフォトサロン」の運営
- ②当社歴代カメラなどの実機の展示や当社の元社員がコンシェルジュとして写真とカメラの歴史を分かりやすく解説するツアーを行う「写真歴史博物館」の運営
- ③国内外で活躍する著名な写真家を審査員に迎え、若手写真家から募集した作品を講評、受賞者の写真展開催までをサポートする「若手写真家応援プロジェクト『ポートフォリオレビュー/アワード』」の実施
- ④20世紀の写真史に名を連ねる著名な海外写真家のオリジナルプリント作品を「フジフィルム・フォトコレクションII」¹として収集・展示

本受賞は、写真文化を守り育て、写真の持つ力を発信してきた「フジフィルム スクエア」のこうした活動が、

- ・写真の歴史や文化の継承に取り組むとともに、写真の持つ価値を幅広い層へ発信し続けている
- ・若手写真家の育成支援を通して、写真の新たな可能性を探求し、写真文化の発展につなげている

という観点で評価されたものです。

当館は、これからも写真家の皆さまの貴重な作品発表の場であり続けるとともに、新しい表現に意欲的に取り組む若手写真家を支援し、世に送り出す場となるよう努力してまいります。そして、「地球上の笑顔の回数を増やしていく。」という富士フィルムグループパーパスの下、これからも祖業である写真を通じて、その素晴らしさや楽しさ、感動の瞬間や大切な思い出を形に残すことの大切さを伝え、写真文化の継承と発展、心豊かな社会の実現に貢献していきます。

※「メセナアワード2025」は企業によるメセナ（芸術文化振興による心豊かなより良い社会づくり）活動を対象に、優れた活動を表彰することで、メセナの充実と社会からの関心を高めることを目的に公益社団法人企業メセナ協議会により創設された顕彰事業です。



富士フィルムグループパーパス

地球上の笑顔の回数を増やしていく。

わたしたちは、多様な「人・知恵・技術」の融合と独創的な発想のもと、
様々なステークホルダーと共にイノベーションを生み出し、世界をひとつずつ変えていきます。

世界中の人々の笑顔を見つめてきた富士フィルムグループは、これからも幅広い事業領域で人々に寄り添い、従業員一人ひとりが「アスピレーション(志)」を持って、このグループパーパスの実現を目指すことで、地球上の笑顔の回数を増やしていきます。



・本データは2025年度の自社調査に基づくものです。

・2025年度とは2025年4月1日から2026年3月31日を指します。年末年始を除いた356日が2025年度の写真展開催期間です。

来館者数

※年末年始を除く稼働日数356日の来館者

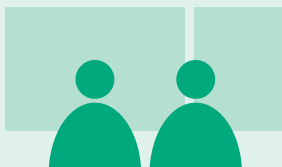
386,313人

1日平均

1,085人

写真展の開催本数

82本



■当社が主催・協力する企画展 38本

若手写真家応援プロジェクト4本、

写真歴史博物館の企画写真展4本、

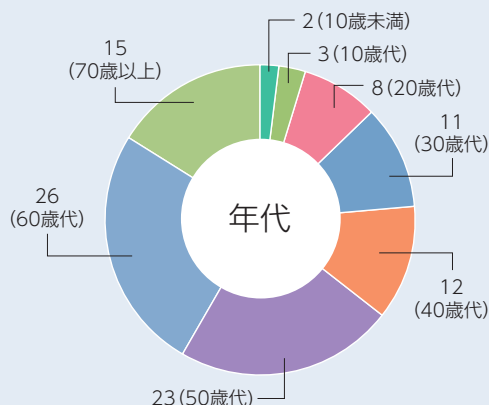
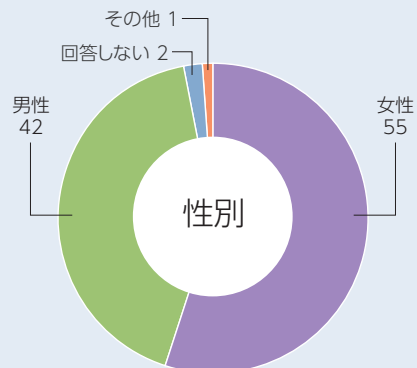
当社が協力する写真展30本を含む、合計38本を開催。

■公募展 44本



〈企画展のDM・パンフレット例〉

来館者属性



※自社アンケート調査による。(回答人数8,280人、グラフの単位は%)

ギャラリートーク・トークイベントなど、鑑賞サポート活動の参加人数

10,591人

536回



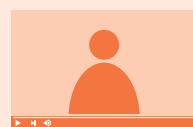
Web公開動画

フジフィルム スクエア Webサイトで公開した動画本数。

21本

総再生回数

32,936回



富士フィルムフォトサロン

日本を代表する写真家の世界観を大サイズプリントで体感できる企画や、子どもたちに笑顔と学びを届ける写真展など、写真が持つ素晴らしさを幅広く発信

榎並悦子写真展「越中八尾 おわら風の盆」



榎並悦子氏は、富山市八尾町で三百年以上続く風鎮祭「おわら風の盆」に魅せられ1996年以降、毎年のように撮影しています。本展はその集大成として、編み笠をかぶり優美に踊る人々や、数千のぼんぼりが灯る幻想的な町並みを捉えた作品など95点を展示。哀調を帯びたおわら節をBGMに、お囃子に使う胡弓などの品々も展示し、風の盆の世界に没入できる空間を創り上げました。



写真から祭りの風の匂いがしてきそうでした。生演奏やトークのイベントも楽しかったです！

会場の造形が素晴らしく、フォトスポットなどもあり、まるで祭りに参加しているようでした。

石川直樹写真展「ASCENT OF 14 2001-2024」～8,000メートル峰 14座への旅～



2001年5月、七大陸最高峰の登頂に当時世界最年少で成功した石川直樹氏。標高8,000メートルを超える14座の山々への挑戦を続け、2024年10月、ついに最後の「シシャパンマ」登頂を果たします。本展は、23年の過酷な道のりを中判フィルムカメラで捉えた72点など、多くが初公開の作品を展示。荘厳な山岳風景、極限となる登頂時の様子など、石川氏の生の記録といえる作品群は、多くの方々の胸を打ちました。



胸にせまる展示でした。歴史的挑戦で捉えた極限の世界を見せていただきうれしかったです。

登山の様子が分かる俯瞰のカット、神々しい山々など迫力の写真に感動しました。

写真歴史博物館

歴史的に評価される作家の作品、貴重なカメラ・技術の展示を通して、写真文化を未来へ伝承

FUJIFILM SQUARE 写真歴史博物館 企画写真展

土田ヒロミ写真展「俗神」

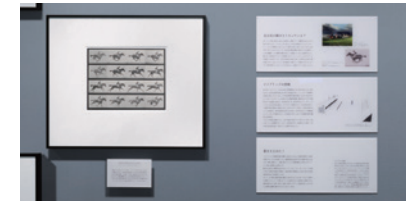


戦後を代表する写真家・土田ヒロミ氏が日本の土俗文化を捉えた、今鑑賞しても新鮮な印象を残す本シリーズを、オリジナルプリントで紹介。

深瀬昌久写真展「洋子／遊戯」

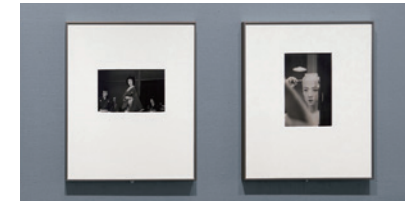


世界的に評価が高まる深瀬昌久の原点となる、妻・洋子を撮影した作品33点のヴィンテージプリントを没後、初めて公開しました。

動画の原点「アニマル・ロコモーション」
「連続写真に切り憑かれた男 エドワード・マイブリッジ」

視覚芸術の歴史に多大な功績を残したエドワード・マイブリッジ。世界で初めて撮影した動く馬の連続写真など、今も映画・アニメに影響を与える彼の貴重な作品群を展示しました。

鬼海弘雄写真展「PERSONA—坂東玉三郎」



日本写真史を飾る写真家・鬼海弘雄が名をはせる前の1976年、五代目・坂東玉三郎の公演に同行しその姿を撮影、40年を経て手焼きされた貴重なヴィンテージプリントなどを展示しました。

コンシェルジュツアー



写真技術の研究開発やサポートに携わった当社の元社員が、写真の原点となった機材のレプリカや秘蔵のアンティークカメラ、歴史的価値の高い写真などさまざまな展示品を題材に、写真表現の歴史を解説するツアーを継続的に開催。幅広い層の方々にご好評をいただいています。

展示作品や写真の技術・歴史に関する多岐にわたる解説にプロフェッショナル性を感じました。

コンシェルジュの方に作品の背景を詳しく説明いただき、想定以上に楽しめました。

若手写真家応援プロジェクト

第一線で活躍する著名な写真家が、新しい感性あふれる若手写真家を支援

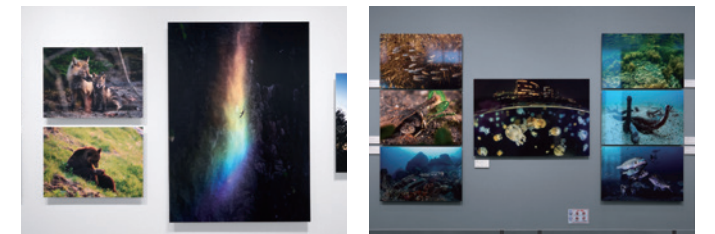
富士フィルムフォトサロン 若手写真家応援プロジェクト
【ポートフォリオレビュー／アワード2025】

45歳以下の写真家および写真家を志す方から作品を公募して、著名な写真家の講評を受ける機会を提供。さらに4名の受賞者には、写真展開催へ向け、著名な写真家による指導や作品制作費を支援。若手写真家が自らの表現を自由に追求した作品群を通じて、写真の新しい可能性を提示しました。

【受賞者：千馬聖司氏】ご助言いただいた「批評性を持つ写真表現」を目指し、見慣れた景色の印象を覆す撮影に挑戦し、作品が変わっていききました。写真選定やプリント制作の奥深さなど学ぶことばかりでした。

富士フィルムフォトサロン 若手写真家応援プロジェクト
【写真家たちの新しい物語】

本企画では45歳以下の写真家から作品を募集し、審査を通過した方の写真展開催を全面的に支援。知床の大自然の中で生と死を見つめた作品や、街のそばにある海中で繰り広げられる驚くべき生命の営みを捉えた作品など、4名の個展を開催し注目を集めました。



【高橋海斗氏】知床で自分が積み重ねてきたものを形にし、多くの方々と共有できたことを大変うれしく思います。表現とは受け手の心と共鳴して初めて成立するものだと、本展で改めて実感しました。



【松田康司氏】新たな世界を深く見つめる来館者の感想は意表を突かれるものばかりで、多くを学びました。多様な海の青の色を高品質のプリントで再現いただき、作品に命が吹き込まれたと感じました。

希望 (HOPE) ～みんなで考える動物の未来～



フジフィルム スクエアでは、毎年夏休みに小・中学生の自由研究を応援する企画を実施しています。2025年は、世界各地で活動する写真家9名が撮影した、動物と自然環境の写真100点を集めた写真展を開催しました。野生動物を見つめ続けてきた写真家たちは、現在の自然環境が危機的状況にあることを実感する一方で、それを守ろうとする人々の取り組みによる、生息数の拡大や環境改善といった成果も見つめてきました。

本展では9つの地域に焦点を当て、動物たちのかけがえのない瞬間や生命の力強さ、豊かな感情を切り取った作品を紹介するとともに、環境問題への理解を深める解説も展示。さらに、写真家や専門家によるトークセッションを開催し、生物多様性の大切さを共有しました。SDGsの目標13・14・15にも通じる内容として、来場者一人ひとりが自分のできる行動を前向きに考えるきっかけとなることを目指し、「希望 (HOPE)」というタイトルにその願いを込めました。

たくさんの動物が絶滅の危機にひんしていることを知り、自分にできることをしていきたいと思いました。

珍しい動物の写真を鑑賞できてうれしかったです。学校の友達にもぜひ見てほしいです。

動物について詳しい知識を得ることができました。クイズも楽しかったです。

施設コンセプト



「写真の持つ力に感動しました」「思わず私も撮りたくなりました」

訪れたお客さまから、そんなたくさんのお声をいただいています。

見応えあるオリジナルプリントを、思う存分鑑賞する。出展者の、作品作りの背景や意図を理解する。写真家の心に共感し、一緒に見ている人と気持ちを分かち合う。

歴代のカメラや写真の歴史を知り、好奇心の羽根を広げる。

“こころ彩るところ”。

フジフィルム スクエアはこれからも、価値ある作品との出会いを通じて、

人と人が心豊かにつながる場でありたいと考えています。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティーの高いさまざまなジャンルの写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを表現した作品を厳選し、写真展を開催しております。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史的進化をご覧いただける博物館です。190年を超える写真文化の変遷をぜひお楽しみください。



タッチフジフィルム&イメージングサービスカウンター

「チェキ™」をはじめとする大人気instax™シリーズや富士フィルムのミラーレスデジタルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品のお試しや、購入ができます。また、修理受付や購入前のトライアルサービス®も提供いたします。そして、スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントや、写真を使ったオリジナルギフト「PHOTO GOODS」などを展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。

※デジタルカメラや双眼鏡など



ASTALIFT ROPPONGI

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を活用した富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM Value from Innovation

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00~19:00 (入館は18:50まで)

無休(年末年始を除く) / 入館無料

※やむを得ず臨時休館する場合がございます。Webサイト・電話でご確認ください。



〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
TEL.03-6271-3350(10:00~18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結

東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分

東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分



富士フィルムフォトサロン、写真歴史博物館、フジフィルム・フォトコレクション、若手写真家応援プロジェクトは、2026年、公益社団法人企業メセナ協議会より、「芸術・文化振興による社会創造活動」として「THIS IS MECENAT 2026」の認定を受けております。

